

第42回椋山フォーラム開催のご案内

標記の件につきまして、下記のとおり開催いたします。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンデマンドによる映像配信となります。是非ご視聴いただきたく、ご案内申し上げます。

『ダイエット』を歴史と文化から再考する

「ダイエット」は、昨今では「痩せること」と理解されているようですが、もともとの意味は「食事」あるいは「食習慣」を指すものでした。

コロナ禍で多くの方が自宅で過した期間が長かった2020年前半、ステイホームで生活リズムが乱れ、食生活が不規則になり、栄養も偏って、体力がなくなったと感じた方も多いかもかもしれません。また、体形を意識した「ダイエット」経験の有無や家族での日常の食生活の変化等の事情を踏まえ、食のあり方そのものについて、あらためて捉え直す必要があると考えます。そこで、本年度の椋山フォーラムでは、「ダイエット」をキーワードに、食の現在について歴史や社会文化を通して考えてみたいと思います。

第1部 講演「痩せたい気持ちの文化人類学」

講師 磯野 真穂 氏 (独立研究者)

「自分らしくあること」に大きな価値が置かれる一方で、私たちの社会にはたくさんのダイエット商品や、痩せるためのノウハウが溢れています。痩せたい気持ちはどこから生まれ、どのように付き合っていけば良いのでしょうか。本講演では文化人類学の観点からダイエットについて考えます。



第2部 コメント 講師 湯澤 規子 氏 (法政大学人間環境学部教授)

第3部 総合討論 磯野 真穂 氏 (独立研究者)

湯澤 規子 氏 (法政大学人間環境学部教授)

杉藤 重信 氏 (椋山人間学研究センター主任研究員、
椋山女学園大学人間関係学部教授)

プロフィールは裏面に記載

映像配信期間： 令和2年12月4日 (金) 13:00～12月6日 (日) 20:00

申込方法： 視聴をご希望の方は12月2日 (水) までにメールにてお名前 (ふりがな) ・
ご住所・お電話番号を明記の上、下記宛までお申込みください。ningen@sugiyama-u.ac.jp

視聴無料

視聴方法： 椋山人間学研究センターホームページ <https://shrc.sugiyama-u.ac.jp/>
に映像配信いたしますので、期限内にご覧ください。視聴の際に必要な
ID・パスワードは、お申込みいただいた方に限り、順次メールでお知らせ
いたします。URL等は、ホームページの新着情報をご確認ください。問合せ先： 学校法人椋山女学園 企画広報部 企画課 阿部、村瀬 宛
〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3
E-mail : ningen@sugiyama-u.ac.jp
TEL : 052-781-4346 FAX : 052-781-8115

プロフィール

いその まほ

磯野 真穂 氏 (独立研究者)

人類学者。専門は文化人類学・医療人類学。博士（文学）。国際医療福祉大学大学院准教授を経て2020年より独立。著書に『なぜふつうに食べられないのか——拒食と過食の文化人類学』（春秋社）、『医療者が語る答えなき世界——「いのちの守り人」の人類学』（ちくま新書）、『ダイエット幻想——やせること、愛されること』（ちくまプリマー新書）、宮野真生子との共著に『急に具合が悪くなる』（晶文社）がある。

ゆざわ のりこ

湯澤 規子 氏 (法政大学人間環境学部教授)

筑波大学大学院歴史・人類学研究科単位取得満期退学。博士（文学）。明治大学経営学部専任講師、筑波大学生命環境系准教授を経て、現職。主な著書に『在来産業と家族の地域史』（古今書院）、『胃袋の近代』（名古屋大学出版会）、『7袋のポテトチップス』（晶文社）、『ウンコはどこから来てどこへ行くのか』（ちくま新書）などがある。

すぎとう しげのぶ

杉藤 重信 氏

(梶山人間学研究センター主任研究員、
梶山女学園大学人間関係学部教授)

甲南大学大学院人文科学研究科単位取得退学（社会学修士）、1988年梶山女学園大学人間関係学部に着任、現在に至る。オーストラリアとオセアニア（ミクロネシアとニュージーランド）でフィールドワークを行い、物質文化、親族領域に関係するデータベース構築、先住民芸術に関する研究に従事している。